

令和7年度 歴史講演会

木曾三川の 流路変化と 大地の活動

～古代・中世の
旅行記から～



講師

歴史研究者(中世史) 文学博士

榎原 雅治 氏

1957年 岡山県生まれ。

元 東京大学史料編纂所所長 東京大学名誉教授

現 公益財団法人 地震予知総合研究振興会 地震防災調査研究部 副主席主任研究員

木曾川・長良川・揖斐川は日本有数の大河であるうえに、東西交通の要衝に位置しているため、古来、多くの旅行記に、渡河方法や周辺地域の様子が記されてきました。それらを丁寧に読んでいくと、水害の常襲地帯で生き抜く工夫をしていた人々の営みや、流路自体が現在とはだいぶ異なっていたことなどがわかってきます。講演会では、そうした様子とともに、流路の変化が地震などの大地の活動の影響を受けていたことについてお話いただきます。

期 日：令和7年5月27日(火)

会 場：岐阜県シンクタンク庁舎 5階 大会議室

時 間：午後2時30分～ (受付2時15分～)

(1時15分～2時15分は協会の総会を実施しています)

参加費
無料

※参加ご希望の方は、予め岐阜県歴史資料保存協会へお申込みください
(定員になり次第締め切ります)

※住所／氏名／電話番号をお知らせください TEL・FAX 058-214-8561
Eメール (岐阜県歴史資料保存協会HPより申込可)

右のQRコードからもお申込み可能です



主催：岐阜県歴史資料保存協会

共催：岐阜県

後援：岐阜県博物館協会 岐阜県郷土資料研究協議会